

【国語科の目標は...】

「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。」ことです。

【6年生では、こんな力を育てます】

★ 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けるとともに適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

★ 目的や意図に応じ、考えた事などを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。

★ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けることができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

口田小学校では特に

- ① 読むこと、書くことの基礎基本を大切に押さえていきます。
- ② 自分の思いを表現できる力を育てていきます。
- ③ 読書活動を通して豊かな想像力や心を育てていきます。
- ④ 「筋道を立てて物事を考え、理由を明らかにして表現する児童」の育成を目指し、考える視点を明確にした授業づくりを通して、論理的思考力を高めていきます。
- ⑤ 「聞くこと」はすべての基礎となりますので徹底して指導していきます。
- ⑥ 短作文指導を継続して行い、書くことへの抵抗感を取り除くとともに、必要事項を正確に記述する指導を行います。
- ⑦ 漢字や語句の成り立ちなどに興味・関心をもたせるとともに、漢字の反復練習を積み重ね、漢字を正確に読み書きができるようにしていきます。
- ⑧ 教室の言語環境や読書環境を整備したり、国語辞典を常備したりして、幅広い文章表現や語彙の拡充を図ります。

【評価について】

★ 単元テストだけでなく、次のようなことも含めて総合的に評価をしていきます。

- ・ 学習への意欲や関心
- ・ 授業中の態度や発言・提出物
- ・ ノートの記録や整理の仕方
- ・ 課題への取り組み状況
- ・ 作文・日記
- ・ 漢字テスト

★ 習ってすぐの学力より学期末・学年末においても定着している学力を重視して評価します。

【おうちの方へのお願い】

★ 国語に限らず、あらゆる教科で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の力が要求されます。生活の基本に国語が位置付いているとも考えられます。ご家庭でも普段の会話から正しい日本語が使えるように意識して下さい。

★ ノートを時々見られ、漢字は正しく使われているかをチェックしたり、よい文章を書いていたらほめる声かけをしたりして、丁寧に正しく書くことに取り組めるよう、支援をお願いします。

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	1 想像を豊かにして「語り」をしよう ○ 風切るつばさ ○ 図書館へ行こう ○ 表現をくふうして書こう	○ 物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように「語り」をする。 ・ いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。 ・ 三字以上の熟語の構成を理解する。
5	2 自分の考えを明確にしながら読もう ○ イースター島にはなぜ森林がないのか ○ 学校の良さを宣伝しよう ○ 動詞にそえて使う言葉に目を向けよう	・ 筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。 ・ 文章の構成を考えて、書かれている内容を正しく読み取る。 ・ 根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。
6	3 物語が強く語りかけてきたことを考えながら読もう ○ ばらの谷 ○ 意見を聞き分けよう ○ 日本の文字に関心を持とう	・ いろいろな補助動詞があることを知りそれぞれの働きや意味を理解する。 ・ 物語が自分にもっとも強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。
7	4 書き手の工夫を考えながら新聞の投書を読もう。 ○ 「わたしの意見」を書こう ○ 漢文を読んでみよう ○ 本は友達	・ 複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。 ・ 平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。 ・ 読み手を説得するための工夫を読み取る
9	5 詩と短歌を味わおう ○ 今始まる新しいいま ○ 短歌 ○ 問題を解決するために話し合おう ○ 資料を活用して書こう	・ 書く事柄を整理し、構成を考えて意見文を書く。 ・ 情景や心情を思い浮かべながら詩や短歌を声に出して読み味わう。
10	6 人物の生き方を考えながら読もう ○ 海のいのち ○ 子供句会を開こう ○ 言葉の由来に関心をもとう	・ 自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。 ・ 資料を効果的に使って文章を書く。 ・ 物語に出てくる人物の関係の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。 ・ 表現を工夫して俳句や短歌を作る。 ・ 和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。

11	<p>7 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未来に生かす自然のエネルギー <p>8 資料を使って説明しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 深めよう，ことばの世界 ○ 言葉は変わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して筆者の意見を読み取る。 ・ 資料を効果的に使って，分かりやすく説明する。 ・ 言葉は時代とともに変化したり，世代によって異なったりすることについて知る。
12	<p>9 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヒロシマのうた <p>10 ふるさとの良さを文章で伝えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさとの良さをしょうかいしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一つの物語をきっかけにして，関連するテーマの本を読み広げる。 ・ 目的に応じて書く事柄を集め，形式を選んでまとめる。
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えよう，大切にしたい名言 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介したものの良さが効果的に伝わるように，工夫して書く。 ・ 目的にあわせて，自分の経験と考えを簡潔に書く。 ・ 伝えたいことを明確にして，話の組み立てを工夫して話す。
2	<p>11 わたしたちの日本語について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな日本語の使い手になろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の意見と具体例の関係に注意し，二つの文章を読む。 ・ 経験したことや学習したことをもとに自分の考えを書く。
3	<p>12 未来に向かって</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 君たちに伝えたいこと ○ 春に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章や詩を読んで，自分の考えや思いを広げたり深めたりする。